

大政奉還150年の今年、いよいよ！

2017年3月4日、開幕。

志国高知

幕中維新博

オープニング  
イベント開催!!  
@高知公園

時代は土佐の山間より

京や江戸から遠く離れた土佐の山間から、なぜ多くの若者が維新の志士となって飛び出し、また、その後の自由民権運動に関わっていくのかを探究することで、彼らを育んだ時代につながる土佐の風土・文化や地域の人々、食・自然を知っていただく博覧会です。

会期

《第1幕》2017年3月4日(土)～2018年3月31日(土)

《第2幕》2018年4月1日(日)～2019年3月31日(日) (予定)

# 志国高知 幕末維新博の会場

高知城歴史博物館・坂本龍馬記念館の2つのメイン会場と、各地域における幕末維新の志士ゆかりの歴史文化施設など20の地域会場があります。

## \*メイン会場①\*



高知県立高知城歴史博物館

## \*メイン会場②\*



高知県立坂本龍馬記念館



吉村虎太郎邸



青山文庫



ジョン万次郎資料館



高知城

\*サブ会場\*  
こうち旅広場



中岡慎太郎館

## 地域会場

室戸世界ジオパークセンター(室戸市)  
北川村立中岡慎太郎館  
岡御殿(田野町)  
安田まちなみ交流館・和(安田町)  
安芸市立歴史民俗資料館  
絵金蔵(香南市)  
創造広場アクランド(香南市)  
県立歴史民俗資料館(南国市)  
県立美術館(高知市)  
高知城(高知市)

県立文学館(高知市)  
高知市立自由民権記念館  
高知市立龍馬の生まれたまち記念館  
いの町紙の博物館  
佐川町立青山文庫  
吉村虎太郎邸(津野町)  
梶原千百年物語り(梶原町)  
四万十市立郷土資料館  
宿毛市立宿毛歴史館  
ジョン万次郎資料館(土佐清水市)

# 高知市立龍馬の生まれたまち記念館 「志国高知 幕末維新博」に向けた取組



## コンセプト

近代日本の出発点となった大政奉還と明治維新。そしてこの大改革になくてはならない活躍をした土佐の偉人たち。薩長同盟など数々の偉業に貢献した坂本龍馬や志を共にした同郷の仲間たちをはじめ、土佐の歴史を彩る数多くの偉人たちにスポットを当て、「龍馬の生まれたまち記念館」ならではの視点で龍馬が生まれ育ったまちの歴史や風土とともに分りやすく伝えることをコンセプトとする。

## 年表 ～幕末から維新へ～

- 1835年 坂本龍馬が高知市城下本丁筋に誕生
- 1862年 坂本龍馬が沢村惣之丞とともに脱藩
- 1866年 薩摩藩と長州藩が薩長同盟を締結
- 1867年 土佐藩が「海援隊」を組織、龍馬が隊長となる  
後藤象二郎の働きかけにより土佐藩から幕府に大政奉還建白書が提出される  
京都で坂本龍馬と中岡慎太郎が暗殺された「近江屋事件」発生  
王政復古の号令
- 1868年 新政府が「五箇条の御誓文」を発表  
江戸を東京と改称、年号を明治とする

- ◇大政奉還から明治維新に至る歴史の激動を、シリーズ企画展で数回に分けて紹介する。
- ◇史跡巡りなどのまち歩きイベントの実施により、坂本龍馬や同郷の志士たちの功績を紹介し、龍馬が生まれ育ったまちの歴史的風土を体験する。
- ◇その他、新たな歴史的好奇心を喚起させるような土佐の偉人を紹介する。  
例：大利鼎吉、上田宗児、吉松速之助、河野敏謙など

## 周辺歴史資源の磨き上げ

### コンテンツ

龍馬の生まれたまち歩き「土佐っ歩」ルート上の史跡

- ①上町エリア
- ②高知城周辺エリア
- ③はりまや橋周辺エリア

### 磨き上げの方向性（案）

- ・案内看板の設置



まち歩きプログラム「土佐っ歩」

NEW

☆「土佐っ歩」に「大政奉還150年記念コース」を新設予定  
自由民権記念館と連携しながら、開成館など九反田周辺を周遊するコースを新設する。

## 整備計画

### ■平成28年度事業～

1. **メディアコンテンツの導入（長期債務負担事業）**  
龍馬の生きた時代を体験できるようなバーチャルリアリティ装置など、体験型の新たなコンテンツを導入し、幅広い世代が楽しめる工夫を行う。
2. **展示設備整備**  
貴重な史料の購入や借用に対応できるよう、史料を劣化から防ぐ高い気密性を持ったエアタイトケースの導入や展示のストーリー性を高めるようなレイアウト整備等を行う。
3. **史料の購入、レプリカの作製**  
キラーコンテンツの一つとして真物史料の購入やレプリカを作製し、観光客の興味や関心を高める。
4. **「上町・小高坂ガイドブック」の作成**  
龍馬の生まれたまち上町と隣接する小高坂にゆかりの人物にスポットを当てたガイドブックを作成することで、観光客の興味や関心を高める。
5. **専用PRツール（ロゴ）の作成**  
幕末維新博で活用する龍馬の生まれたまち記念館専用のPRツールを作成する。
6. **ホームページの多言語化**  
ホームページを多言語化（英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語）し、外国人観光客に対応する。
7. **音声ガイド「ペン読」のリニューアル**  
展示内容の変更に合わせてリニューアルを行い、外国人観光客の満足度向上につなげる。
8. **施設照明へのLED導入**  
展示品の魅力的な演出と展示品の保護のため、展示館内の蛍光灯やスポットライトなどの照明をLED化する。
9. **ボランティアガイドの強化（定額補助）**  
博覧会の内容に対応した案内を行えるようボランティアガイドのスキルアップを図り、観光客の満足度向上につなげる。

総事業予算：75,000千円 県補助率：2/3（一部定額補助）

# 高知市立自由民権記念館 「志国高知 幕末維新博」に向けた取組



## コンセプト





自由民権記念館は「幕末維新博」の地域会場の一つとして、以下のコンセプトに基づき、企画展等を実施します。

近代日本の出発点となった大政奉還と明治維新、そして日本最初の民主主義運動である自由民権運動へ。

自由民権記念館では、明治維新以後の土佐を中心とした日本近代史にスポットを当て、板垣退助をはじめとする自由民権家たちの業績を紹介すると共に、幕末～明治期の世相や風俗などの移り変わりを錦絵や古地図などで視覚的に分かりやすく伝えることをコンセプトとします。

## ●歴史資源活用推進事業費（平成28年度9月補正） 事業計画

平成28年度は、平成29年3月4日からの「幕末維新博」開催に先立ち、自由民権記念館内外の施設整備を中心に行います。

展示内容等の 磨き上げ	展示会場の改修等	展示会場である1階「自由ギャラリー」と2階「特別展示室」を改修し、展示環境を改善します。 ●照明器具のLED化 ●展示ケース(エアタイトケース)の新規購入 ●展示ケース内やギャラリー壁などのクロス貼替 など	
	映像機器の入替	館内の映像機器を、現在のアナログ機器からデジタル機器へと入れ替え、来館者の利便性向上をはかります。 ●2階:映像展示室/階段上映像スクリーン ●1階:民権ホール	
周辺歴史資源 の磨き上げ	周辺史跡案内 パネル・マップ	自由民権運動に関係する史跡を紹介する案内パネルを記念館内に設置するとともに、それらの案内マップを新たに作成し、配布します。	
	東九反田公園史跡 解説板改修	東九反田公園内に設置している市指定文化財(史跡:開成館跡)の解説版が老朽化しているため、改修します。 + 「土佐っ歩」と連携し、開成館など九反田周辺を周遊するコースを新設	
地域会場等の 多言語化  ※県補助の必要条件	公衆Wi-Fi整備	自由民権記念館内の公衆Wi-Fi整備を行い、外国人観光客をはじめとする来館者の利便性向上をはかります。	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <b>総事業予算：75,000千円</b>  <b>県補助率：2 / 3</b> </div>
	4か国語版 パンフレット	自由民権記念館の案内パンフレットについて、4か国語版(英語, 中国語(簡体字・繁体字), 韓国語)を作成します。	



大政奉還150周年記念プロジェクト

400名 観覧者募集 無料招待

# 記念シンポジウム & 二条城 二の丸御殿 大広間見学

慶応3年(1867年)10月、土佐藩前藩主、山内容堂は、将軍徳川慶喜に大政奉還を建白。慶喜はこれを受け入れ、二条城二の丸御殿大広間に諸藩の代表を招集、大政奉還を表明しました。大政奉還、王政復古の大号令から明治維新に関わった人々の子孫等ゆかりのある関係者、学識経験者などを交え、その功績や意義、未来への活かし方について語るシンポジウムを開催します。

# 大政奉還

ゆかりの子孫が京都で語る



徳川 慶喜

福井市立郷土歴史博物館蔵



山内 容堂

高知県立歴史民俗資料館蔵



平成29年

# 1月22日(日)

第一部、第二部 13時～15時  
(開場: 12時30分)

第三部 16時～17時

募集人数

400名(事前申込制・抽選制)

場所

立命館大学朱雀キャンパスホール(地図参照)  
(京都市中京区西ノ京朱雀町1)

申込方法

裏面を御覧ください

MAP



JR・地下鉄二条駅より徒歩約2分(駐車・駐輪場はございません)  
会場へは公共交通機関を御利用ください

司会 2016 京都・ミスきもの 田首 化那

第一部

基調講演

「大政奉還の真相」

青山 忠正氏(佛教大学歴史学部歴史学科教授)

第二部

パネル  
ディスカッション

パネリスト

徳川 恒孝氏(徳川宗家18代当主)

山内 豊功氏(土佐山内家19代当主)

青山 忠正氏(佛教大学歴史学部歴史学科教授)

コーディネーター

母利 美和氏(京都女子大学文学部史学科教授)

第三部

二条城 二の丸御殿大広間見学(現地集合)

シンポジウム参加者で御希望の方は無料で  
国宝二の丸御殿大広間を見学いただけます。

【主催】京都市 大政奉還150周年記念プロジェクト京都市運営委員会  
【協力】特定非営利活動法人京都観光文化を考える会・都草



東アジア文化都市 2017 京都  
CULTURAL CITY OF EAST ASIA 2017 KYOTO

# 大政奉還150周年記念プロジェクトとは

平成29年(2017年)は、武家政権が終わりを告げ、新しい国づくりへの転換期となった慶応3年(1867年)の「大政奉還」から150年の節目を迎えます。京都市では、この機を捉え、「大政奉還150周年プロジェクト」を実施することとし、幕末維新に京都で活躍した先人たちとゆかりを持つ都市に参画を呼びかけ、相互に交流・連携を図る事業に取り組みます。



大政奉還150周年記念プロジェクト公式サイト  
<http://www.taiseihokan150.jp/>

プロジェクト参画都市

会津若松市、千代田区、品川区、調布市、日野市、上田市、福井市、  
 静岡市、桑名市、和歌山市、高梁市、福山市、萩市、下関市、宇和島市、  
 高知市、長崎市、熊本市、霧島市、鹿児島市、京都市

出演者の御紹介  
(敬称略・順不同)



とくがわ つねなり  
**徳川 恒孝** (徳川宗家18代当主)

1940年東京都生まれ。学習院大学卒業後、1964年に日本郵船(株)に入社し、2000年同社代表取締役副社長就任、2002年同社顧問就任。2003年財団法人徳川記念財団の設立時から理事長に就任。現在、徳川宗家18代当主として(公財) WWF世界自然保護基金ジャパン会長等の多くの役職を歴任。著書は、『江戸の遺伝子』(PHP研究所)等多数。



やまうち とよこと  
**山内 豊功** (土佐山内家19代当主)

1940年東京都生まれ。学習院大学大学院終了後、ダウ・ケミカル社研究所勤務、2003年から山内家19代当主、土佐藩15代藩主山内容堂公の玄孫にあたる。現在、山内興業株式会社代表取締役社長



あおやま ただまさ  
**青山 忠正** (佛教大学歴史学部歴史学科教授)

1950年東京都生まれ。1983年東北大学助手、大阪商業大学助教授、1996年佛教大学助教授、1999年佛教大学教授、2010年歴史学部新設により現職。幕末維新期の政治史を専攻。主著に「明治維新と国家形成」(吉川弘文館)等多数。



もり よしかず  
**母利 美和** (京都女子大学文学部史学科教授)

1958年兵庫県生まれ。1985年彦根市教育委員会博物館建設準備室技術吏員、1987年彦根城博物館学芸員、2002年史料課史料係長を経て、2003年京都女子大学助教授、2010年から現職。幕末維新期の政治史を専攻。主著に「幕末維新の個性 6 井伊直弼」(吉川弘文館)等多数。

12月8日(木)から  
 1月10日(火)まで

申込み  
 問合せ

【京都いつでもコール】  
\*お掛け間違いに御注意ください

電話かFAX、又は電子メールで1月10日(火)までに、京都いつでもコール(京都市市政情報総合情報案内コールセンター)へお申し込みください。お申し込みの際には、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、同伴者氏名(\*グループの場合、3人まで)をお伝えください。応募多数の場合は抽選となります。当選者には、1月11日(水)から、順次、参加票を送付します。(グループでお申し込みの場合、代表者のみ送付。)当日は参加票を持参のうえ御来場ください。



電話 075-661-3755

みなここ



FAX 075-661-5855

ごようはここ



電子メール(ホームページの送信フォームをご利用ください)

京都いつでもコール

検索

## 大政奉還150周年記念プロジェクト記念シンポジウム FAX応募用紙

おなまえ	
お名前	TEL
〒□□□-□□□□	
ご住所	
※グループでお申し込みされる場合は、希望者全員のお名前を御記入ください。	
おなまえ	おなまえ
お名前	お名前

※この個人情報は、本イベントの運営以外には使用しません。

お問合せ先

大政奉還150周年記念プロジェクト京都市運営委員会(京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課内)  
 TEL:075-366-0033 FAX:075-213-3181

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課 発行/平成28年12月 京都市印刷物第284786号

この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ!